

寄港地のご案内

チビタベッキア／ローマ（イタリア）

チビタベッキアはイタリアの西海岸ティレニアに面し、コルシカ島の対岸に位置しています。西暦108年に皇帝トラヤヌスによって築かれて以来現在にいたるまで、イタリアの首都ローマの外港として栄える港湾都市です。ローマへは、約80キロの距離にあります。



「チビタベッキア」とは「古代の街」を意味し、市内のいたるところに古代遺跡があります。

チビタベッキアがキリスト教徒に注目されたのはカドニアナの礼拝堂で、「マリアの顕現」といわれる血の涙を流す聖母マリア像が発見されたときからで、これ以降世界中から巡礼者が訪れています。

また、日本との関わりが深い街で、1615年に慶長遣欧使節団を率いる市倉常長が日本人として始めて上陸したところであり、宮城県石巻市と姉妹都市になっています。

気候：

イタリアは日本と同じように国土が南北に細長く、気候も温暖で四季があり、日本とよく似ています。東京とローマの気候はほぼ同じですが、緯度が高い為、夏は日照時間が長く、また湿度も少ないため、日陰にはいると涼しいのが特徴。朝晩、ぐっと気温が下がるので、1枚はおるものがあると便利です。

平均気温（8月）	チビタベッキア
最高気温	88°F / 31°C
最低気温	64°F / 18°C

時差：

	日本	チビタベッキア	ロサンゼルス
冬時間	18:00	10:00	1:00
夏時間	18:00	11:00	2:00

通貨：ユーロ（€） 1ユーロ = 約 1.23 ドル(USD) / 131.32 円 *2018年4月現在